



**交通安全母の会と防犯協会丹副会長に
感謝状が贈呈される**

12月28日、新庄警察署で感謝状の贈呈式が行われ、丹潔金山町防犯協会副会長（写真右）と金山町交通安全母の会（松田聖子会長・写真左）が新庄警察署署長から表彰されました。丹副会長は長年にわたり防犯協会員として地域の安全活動に貢献。金山町交通安全母の会は、高齢者の事故防止活動が評価され、両者に感謝状が贈られました。おめでとうございます。



果敢に攻めて初優勝を飾った長倉選手

長倉丈選手(三枝)県高校総体スキーで優勝！

1月16日、第65回全国高校スキー大会の山形県大会が山形市の蔵王温泉スキー場で開催されました。

男子大回転競技で新庄北高最上校2年の長倉丈君（三枝）が優勝し、2月に青森県大鰐町で開催される全国大会（インターハイ）出場を決めました。

長倉選手は「嬉しかった。調子はまずまずだったコースと滑りがマッチしていいタイムが出せた。初のインターハイが楽しみ」と話してくれました。

おめでとうございます。今後の活躍を期待します。



消防団年頭集会で無火災を呼びかける

1月10日、町消防団幹部及び消防関係機関を招集した年頭集会在開催されました。

柿崎久芳団長（写真）は「昨年は火災が発生し無火災記録が途切れた。本日は防火パレードを行い火災予防の徹底を呼び掛けたい」と訓示しました。

また、山形地方気象台の坂野哲哉次長をお招きし「気象と災害、地球温暖化と気候」と題し講演会を行いました。

終了後、各分団部で消火栓や水路の点検、施設の除雪などを行いました。



まちづくりアドバイザーでフォーラムを進行した
蜂屋大八宇都宮大学特任准教授とフォーラムの様子

大学環ネットを町づくり地域づくりにつなげよう！

町では平成25年度から東京近郊の大学との連携をしています。それぞれの大学の研究成果と提言等を一元化するため、平成26年12月に「大学環ネットかねやま」を立ち上げています。

12月27日、「大学環ネットかねやまフォーラム2015」が役場町民ホールで開催。6つの大学が活動を発表し町に対する提言などを行いました。会場には70人を超える参加者が訪れ、真剣な眼差しで聞き入っていました。



スキーを楽しむ沖縄児童

沖縄から小学生児童が神室でスキー体験

1月14日、沖縄中部広域市町村圏の小学生児童と教職員合わせて67人が神室スキー場を訪れ、スキー体験を行いました。有屋小、金山小の児童と金山スキークラブの有志がお手本を見せながら指導。沖縄児童たちはすぐに上達しました。沖縄市から来た5年生の男子児童は「寒さは慣れた。スキーは初めてやったけど難しいね。わかりやすく教えてもらった」と何度も転びながらも楽しそうに滑っていました。

飛躍の年になることを願い新年祝賀会

1月5日、新年祝賀会がもがみ北部商工会金山支部（星川広喜支部長）主催で開催されました。会には商工会関係者、各地区区長、経営者懇話会会員、町教職員など昨年を上回る約130名の参加者が顔を揃え、名刺や情報の交換等が行われました。

懇談の場では、「地方創生」に関して道路整備、農業政策、人口減少問題、国の政策などが主な話題に挙がっていました。今年は「金山をもっと良くしたい」と願う参加者の情熱で会場には活気がありました。



鈴木町長、柴田議長を囲んでの鏡開きの様子。



1部（5・6年）女子の部決勝レースから

今季の前哨戦。りゅう馬スプリントスキーフェスタ

1月10日、「りゅう馬スプリントスキーフェスタ」が有屋スキースポーツ少年団（三上重幸会長）主催により神室スキー場で開催されました。

暖冬により開催が危ぶまれましたが、町内外の6つのスポーツ少年団員から55人が参加。ゲレンデ前特設コースで男女学年別の勝ち抜き戦を実施。今季のスキー大会の前哨戦となるべく白熱したレースが展開されました。

冬季交通安全教室で園児が除雪車に体験乗車

12月22日、幼児のための交通安全教室が、国土交通省山形河川事務所金山防災除雪ステーションで行われ、認定こども園めぐたま（井上巨園長）の年長園児33人（写真参照）が参加しました。主催は国道13号の除雪を担当する白岩土木建築株式会社（白岩匠代表取締役社長）。

最初に新庄警察署金山駐在所の署員に雪の危険性についての講話があり、「除雪車には近づかないように」など呼びかけがありました。その後、除雪車に体験乗車しながら大きさに近づかないよう約束しました。

